

(様式第9)

旭医大第1206号
平成20年10月3日

厚生労働大臣 殿



開設者名 国立大学法人旭川医科大学
学長 吉田晃



旭川医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成19年度の業務に関して報告します。
記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	25人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)

- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	159人	147人	227.8人	看護業務補助	42人	診療エックス線技師	人
歯科医師	4人	4人	7.2人	理学療法士	3人	臨床検査技師	35人
薬剤師	18人	9人	26.4人	作業療法士	人	衛生検査技師	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	7人	櫛その他	人
助産師	23人	人	23.0人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	447人	61人	487.7人	臨床工学技士	8人	医療社会事業従事者	2人
准看護師	人	人	人	栄養士	人	その他の技術員	5人
歯科衛生士	人	1人	1.0人	歯科技工士	2人	事務職員	72人
管理栄養士	4人	1人	5.0人	診療放射線技師	22人	その他の職員	35人

(注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	502人	7人	509人
1日当たり平均外来患者数	1,332人	40人	1,372人
1日当たり平均調剤数		1,110剤	

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を曆日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ曆日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	無	人
胎児心超音波検査	無	人
インプラント義歯	無	人
顎顔面補綴	無	人
顎関節症の補綴学的治療	無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術	無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	無	人
CTガイド下気管支鏡検査	無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験	無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断	無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	無	人
腹腔鏡下肝部分切除術	無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療	無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	無	人
成長障害のDNA診断	無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	無	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術	無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法	無	人
ミトコンドリア病のDNA診断	無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術	無	人
神経変性疾患のDNA診断	無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	無	人
重粒子線治療	無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	無	人
31燐-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	無	人
神経芽腫のRNA診断	無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有	0人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断	無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素凍結骨移植	無	人
脾腫瘍に対する腹腔鏡補助下脾切除術	無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術	無	人
活性化Tリンパ球移入療法	無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	無	人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	無	人
ケラチン病の遺伝子診断	無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療	無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有	3人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	無	人
超音波骨折治療法	無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・韌帯組織の凍結保存	無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	無	人
膀胱水圧拡張術	無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	無	人
腹腔鏡下直腸固定術	無	人
骨移動術による関節温存型再建	無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍)	無	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	無	人
先天性難聴の遺伝子診断	無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断	無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有	10人
カフェイン併用化学療法	無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術	無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	無	人
内視鏡下甲状腺がん手術	無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ベーチェット病	63人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	5人
・多発性硬化症	25人	・ウェグナー肉芽腫症	10人
・重症筋無力症	15人	・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	35人
・全身性エリテマトーデス	190人	・多系統萎縮症	10人
・スモン		・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	4人
・再生不良性貧血	10人	・膿疱性乾癬	6人
・サルコイドーシス	68人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・筋萎縮性側索硬化症	5人	・原発性胆汁性肝硬変	37人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	106人	・重症急性胰炎	2人
・特発性血小板減少性紫斑病	29人	・特発性大腿骨頭壞死症	32人
・結節性動脈周囲炎	25人	・混合性結合組織病	16人
・潰瘍性大腸炎	190人	・原発性免疫不全症候群	5人
・大動脈炎症候群	12人	・特発性間質性肺炎	5人
・ビュルガー病	53人	・網膜色素変性症	22人
・天疱瘡	12人	・プリオン病	
・脊髄小脳変性症	33人	・原発性肺高血圧症	3人
・クローン病	139人	・神経線維腫症	8人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎		・亜急性硬化性全脳炎	
・悪性関節リウマチ	11人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	
・パーキンソン病関連疾患	52人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	2人
・アミロイドーシス	6人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	2人
・後縫靭帯骨化症	39人	・副腎白質ジストロフィー	
・ハンチントン病			

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	9回	
剖 檢 の 状 況	剖検症例数 23 例	剖検率 9.87 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

通番	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元	備考
1	北海道臨床開発機構の組織的・機能的充実等	吉田 晃敏	学長	16,581	委 文部科学省研究振興局	
2	プロスタノイドの血管病変形成における役割—骨髓細胞分化に及ぼす影響—	川辺 淳一	第一内科	650	補 科学研究費補助金	
3	ラバマイシンによる血管再構築抑制の適正化を図る酸化的DNA塩基損傷修復の修飾効果	長谷部 直幸	第一内科	1,950	補 科学研究費補助金	
4	マクロファージ遊走阻止因子の大動脈瘤形成に関わる役割	福澤 純	第一内科	2,860	補 科学研究費補助金	
5	筋萎縮性側索硬化症の治療に関する基礎的研究	相澤 仁志	第一内科	1,170	補 科学研究費補助金	
6	慢性腎臓病における血管内皮前駆細胞の機能解析および新規治療法の開発	中川 直樹	第一内科	500	補 (財)秋山記念生命科学振興財団	
7	心筋梗塞症急性期および慢性期の薬剤を用いた治療に関する大規模薬剤効果比較試験(J-WIND)	長谷部 直幸	第一内科	0	委 財団法人循環器病研究振興財団	継続
8	非小細胞肺がんStageⅢB/Ⅳ期に対するCDDP+TS-1療法とCDDP+Docetaxel療法を比較する第Ⅲ相ランダム化比較試験	大崎 能伸	第一内科	840	委 特定非営利活動法人東京がん化学療法研究会	
9	低酸素シグナル抑制分子IPASの発現制御法の開発とがん治療への応用	牧野 雄一	第二内科	5,300	補 科学研究費補助金	
10	血管新生病の病態解明と新規治療法開発	岡本 健作	第二内科	1,700	補 科学研究費補助金	
11	IκBβ 2を標的とした関節リウマチ滑膜炎の治療戦略に関する研究	平野 史倫	第二内科	2,600	補 科学研究費補助金	
12	低酸素応答性転写制御装置の発現調節機構の解明と疾患治療への応用	牧野 雄一	第二内科	2,000	補 (財)加藤記念バイオサイエンス研究振興財団	
13	ヒト血管内皮前駆細胞の可塑性に起因するがん微小環境の異常とその制御	水上 裕輔	第三内科	5,600	補 科学研究費補助金	
14	血管内皮前駆細胞を用いた細胞遺伝子治療の開発～がん治療への応用～	水上 裕輔	第三内科	1,500	補 科学研究費補助金	
15	微生物認識機構・エフェクター分子産生の制御による炎症性腸疾患治療法の開発	高後 裕	第三内科	10,010	補 科学研究費補助金	
16	ソノポレーション現象を応用した新たな肝癌治療の開発	鈴木 康秋	第三内科	1,040	補 科学研究費補助金	
17	炎症非惹起型プロティフェンシンの構造作用特性に注目した炎症性腸疾患の治療	田邊 裕貴	第三内科	3,120	補 科学研究費補助金	
18	ハニカムフィルムによる血管内皮前駆細胞の培養に関する研究	水上 裕輔	第三内科	600	委 (財)北海道科学技術総合振興センター	
19	プロバイオティクスの有効成分を用いた新しい消化管疾患治療薬の開発	藤谷 幹浩	第三内科	1,960	委 独立行政法人科学技術振興機構JST(バイオフレード北海道)	
20	消化管機能評価による機能性食素材の開発	高後 裕	第三内科	5,000	委 (財)北海道科学技術総合振興センター	
21	副腎・生殖腺の異常によって発症する性分化異常症の新たな成因の探求	藤枝 憲二	小児科	14,900	補 科学研究費補助金	
22	性分化異常症の網羅的な病因・病態の解明	藤枝 憲二	小児科	5,200	補 科学研究費補助金	
23	脳形成異常の病態解明—前脳特異的Cdk5欠損マウスをモデルとして—	高橋 悟	小児科	1,320	補 科学研究費補助金	
24	副腎ホルモン産生異常にに関する調査研究	藤枝 憲二	小児科	20,000	補 厚生労働科学研究費補助金	
25	リンパ浮腫次世代治療法—リンパ管新生遺伝子治療と外科治療のハイブリッド治療法	笹嶋 唯博	第一外科	10,010	補 科学研究費補助金	
26	人工材料感染に対するCRPの応用:新しい予防法・治療法の開発を目指して	笹嶋 唯博	第一外科	1,100	補 科学研究費補助金	
27	NO合成遺伝子導入によるクローン病腸管狭窄予防に関する研究	千里 直之	第二外科	1,000	補 科学研究費補助金	
28	「Stage II 大腸癌に対する術後補助化学療法に関する研究」第Ⅲ相臨床試験	河野 透	第二外科	0	委 財団法人先端医療振興財団	継続
29	「Stage II 大腸癌における分子生物学・病理学的マーカーによる再発high-risk群とフッ化ビリミジン感受性群の選択に関する研究」	河野 透	第二外科	0	委 財団法人先端医療振興財団	継続
30	肺癌切除後の補助化学療法における塩酸ゲムシタビン療法とS-1療法の第3相比較試験(JASPAC01)	葛西 真一	第二外科	420	委 財団法人しづおか産業創造機構	
31	腰部脊柱管狭窄症の病態と治療に関する神経機序の解明	熱田 裕司	整形外科	650	補 科学研究費補助金	

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

通番	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元	備考
32	副交感神経節移植による運動機能再建の基礎的研究	研谷 智	整形外科	600	補	科学研究費補助金
33	ゆるむ事のない人工関節間発へのブルークスルー	松野 丈夫	整形外科	31,010	委	文部科学省研究振興局
34	ダリエー病SERCA2b変異遺伝子導入トランジェニックマウスの解析	飯塚 一	皮膚科	3,900	補	科学研究費補助金
35	角化異常症の病態解明	山本 明美	皮膚科	1,170	補	科学研究費補助金
36	過活動膀胱における膀胱知覚異常および尿路上皮の機能異常の網羅的解析	柿崎 秀宏	泌尿器科	2,730	補	科学研究費補助金
37	眼循環のトランスレーショナルリサーチによる糖尿病網膜症の新しい治療法の開発	長岡 泰司	眼科	10,530	補	科学研究費補助金
38	糖尿病網膜症における網膜循環動態と動脈硬化の評価と治療法の検討	佐藤 栄一	眼科	700	補	科学研究費補助金
39	糖尿病網膜症に対する汎網膜光凝固術の眼循環動態に及ぼす影響の検討	高橋 淳士	眼科	1,000	補	科学研究費補助金
40	糖尿病動物を用いた網膜の機能変化と網膜症発症のメカニズムの解明	吉田 晃敏	眼科	1,690	補	科学研究費補助金
41	2型糖尿病患者の眼循環動態における網膜血管内皮の役割－網膜摘出血管を用いた研究と眼循環のトランスレーショナルリサーチ	長岡 泰司	眼科	1,000	補	公益信託三島済一記念眼科研究国際交流基金
42	鼻性NK/T細胞リンパ腫におけるEBウイルス膜蛋白の発現機構と機能解析	高原 幹	耳鼻咽喉科	1,700	補	科学研究費補助金
43	頭頸部悪性腫瘍に対するFAKとEphA2を標的としたペプチドワクチン療法の開発	長門 利純	耳鼻咽喉科	1,700	補	科学研究費補助金
44	鼻性NK/T細胞リンパ腫のEBウイルスを標的とした新たな診断法・治療法の開発	原渕 保明	耳鼻咽喉科	3,770	補	科学研究費補助金
45	扁桃病巣感染症における病態の解明と扁桃摘出術の有用性に関する基礎的エビデンス	坂東 伸幸	耳鼻咽喉科	1,170	補	科学研究費補助金
46	機能的電気刺激の内咽頭筋再支配に対する影響	片田 彰博	耳鼻咽喉科	2,860	補	科学研究費補助金
47	頭頸部扁平上皮癌根治治療後のTS-1補助化学療法の検討－多施設無作為化比較試験－	高原 幹	耳鼻咽喉科	0	委	財団法人先端医療振興財団 継続
48	ヒト無精子症原因遺伝子の同定および精子形成過程におけるメカニズムの解析	宮本 敏伸	産科婦人科	2,340	補	科学研究費補助金
49	婦人科癌浸潤移転現象におけるホメオボックス遺伝子メチル化制御機構の解析	山下 剛	産科婦人科	2,860	補	科学研究費補助金
50	不妊症患者の実態と生殖補助医療技術による妊娠性の向上に関する研究	千石 一雄	産科婦人科	803	委	北海道(厚生労働省)
51	Tc-99m MIBI心筋SPECTにおけるwashout及び動態解析	沖崎 貴琢	放射線科	800	補	科学研究費補助金
52	妊娠に伴う内因性鎮痛機序の中核および脊髄における薬理学的、電気生理学的検討	岩崎 寛	麻酔科蘇生科	2,860	補	科学研究費補助金
53	尿中蛋白不均一性の機序の解明と病態解析への展開応用	伊藤 喜久	臨床検査・輸血部	1,430	補	科学研究費補助金
54	エイズ診療向上に関する調査研究	伊藤 喜久	臨床検査・輸血部	4,096	委	北海道(厚生労働省)
55	認知症診断バイオマーカー探索	伊藤 喜久	臨床検査・輸血部	5,000	委	財) 北海道科学技術総合振興センター
56	ユビキチン・プロテアソーム系を介したインスリン受容体基質調節機構の解明	高橋 伸彦	総合診療部	1,800	補	科学研究費補助金
57	PPARligandによる消化器癌細胞増殖抑制の分子メカニズム	奥村 利勝	総合診療部	1,690	補	科学研究費補助金
58	ストレス応答キナーゼp38MAPKを標的とした癌治療と抗癌剤耐性回避への応用	丹野 誠志	総合診療部	1,950	補	科学研究費補助金
59	インスリン様成長因子の遺伝的多様性から見た胎児発育とその成長予後	長屋 建	周産母子センター	1,300	補	科学研究費補助金

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int Heart J, 48:347-358 (平19. 5)	Electrophysiological effects of carvedilol on rabbit heart pacemaker cells.	佐藤 伸之	内科学講座 循環・呼吸・神経 病態内科学分野
Nucl Med Commun, 28:726-735 (平19. 9)	A compartment model analysis for investigation of myocardial fatty acid metabolism in patients with hypertrophic cardiomyopathy.	長谷部 直幸	内科学講座 循環・呼吸・神経 病態内科学分野
Intern Med, 46:1937 (平19. 12)	Gabapentin for painful legs and moving toes syndrome.	相澤 仁志	内科学講座 循環・呼吸・神経 病態内科学分野
J Am Coll Cardiol, 51:139-145 (平20. 1)	Prediction of cardiac death in hemodialysis patients by myocardial fatty acid imaging.	長谷部 直幸	内科学講座 循環・呼吸・神経 病態内科学分野
Hypertens Res, 31:193-201	A newly estimated glomerular filtration rate is independently associated with arterial stiffness in Japanese patients.	長谷部 直幸	内科学講座 循環・呼吸・神経 病態内科学分野

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Diabetologia, 50 : 867-873, 2007.	Predictive impact of elevated serum level of IL-18 for early renal dysfunction in type 2 diabetes : an observational follow-up study.	羽田 勝計	内科学講座 病態代謝内科学分野
DIABETES , 56:1727-1730, 2007	Reduction in Microalbuminuria as an Integrated Indicator for Renal and Cardiovascular Risk reduction in Patients With Type 2 Diabetes.	羽田 勝計	内科学講座 病態代謝内科学分野
DIABETES CARE, 30(6):1577-1578, 2007.	Prevention of Transition from Incipient to Overt Nephropathy With Telmisartan in Patients With Type2 Diabetes.	羽田 勝計	内科学講座 病態代謝内科学分野
JOP, 8:621-627, 2007.	An autopsy case of autoimmune pancreatitis.	松本 学也	内科学講座 病態代謝内科学分野
糖尿病50(3): 197-202, 2007	症例報告 糖尿病罹病期間30年で集学的治療にて寛解した糖尿病性腎症の1例	安孫子 亜津子	内科学講座 病態代謝内科学分野

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Clin Pathol. 2007;60(8):921-6. (平19. 8)	K-ras mutations and cell kinetics in Helicobacter pylori associated gastric intestinal metaplasia: a comparison before and after eradication in patients with chronic gastritis and gastric cancer.	渡二郎	内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学
Biochem Biophys Res Commun. 2007;22;358(1):349-55. (平19. 6)	Denatured human alpha-defensin attenuates the bactericidal activity and the stability against enzymatic digestion.	田邊 裕貴	内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学
Gut 2008;57(3):339-43. (平20. 3)	Natural History of Branch Duct Intraductal Papillary-Mucinous Neoplasms of the Pancreas without Mural Nodules: Long-term Follow-up Results.	高後 裕	内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学
Gastroenterology 133 (6); 1893-1904, 2007 (平19. 12)	Translational Inhibition of Colonic Epithelial Heat Shock Proteins by IFN- γ and TNF- α in Intestinal Inflammation.	藤谷 幹浩	内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学
Cell Host Microbe. 2007 14;1(4):299-308. (平19. 6)	The <i>Bacillus subtilis</i> quorum-sensing molecule CSF contributes to intestinal homeostasis via OCTN2, a host cell membrane transporter.	藤谷 幹浩	内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Pediatr Hematol Oncol (平19. 5)	Leukemia in Cardio-facio-cutaneous (CFC) syndrome: a patient with a germline mutation in BRAF proto-oncogene.	蒔田 芳男	小児科
J Clin Endocrinol Metab (平19. 10)	Molecular basis of neonatal diabetes in Japanese patients.	鈴木 滋	小児科
Early Hum Dev (平20. 2)	Matrix metalloproteinases in infants with posthemorrhagic hydrocephalus.	岡本 年男	小児科
Brain Dev (平20. 3)	Actigraphic assessment of sleep disorders in children with chronic fatigue syndrome.	大日向 純子	小児科
Clin Genet (平20. 3)	Skewed X chromosome inactivation failed to explain the normal phenotype of a carrier female with MECP2 mutation resulting in Rett syndrome.	高橋 悟	小児科

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
The Jarnal of Cardiovascular Surgery (平19. 8)	Effect on vein graft intimal hyperplasia of nuclear factor-kB decoy transfection using the second generation of HVJ vector	東 信良	第一外科
Oncogene (平19. 10)	Cold shock dmain protein A represses angiogenesis snd lymnangiogenesis via inhibition of serum response ement	東 信良	第一外科

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Orthop Res. ;25(11):1401-7. (平 19. 11)	Association between dislocation, impingement, and articular geometry in retrieved acetabular polyethylene cups.	谷野 弘昌	整形外科

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Dermatological science 50 (平20.)	A novel PTCH1 mutation in a patient of nevoid basal cell carcinoma syndrome.	本間 大	皮膚科
Clin EXP dermatol 24 (平19.)	Hutchinson-Gilford progeria syndrome with severe skin calcinosis.	中村 哲史	皮膚科
J Dermatological SCIENCE 49 (平20.)	ATX-SI0(Na)-photodynamic therapy inhibits cytokine secretion and proliferation of lymphocytes.	高橋 英俊	皮膚科
日本皮膚科学雑誌 117(10) (平19.)	長期間経過を観察しPCR-SSCP法で ATP2A2遺伝子に変異を認めなかった Persistent acantholytic dermatosis の一例	井川 哲子	皮膚科
日本皮膚科学雑誌 118(2) (平19)	長期生存し二次性肉腫を伴った多形型 平滑筋肉腫(Pleomorphic leiomyosarcome)の一例	佐藤 恵美	皮膚科

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cornea (平20. 2)	Therapeutic keratoplasty for corneal perforation;clinical results and complications	花田 一臣	眼科
日本眼科学会誌 (平19. 11)	A case of panuveitis with optic disc neovascularization associated with juvenile idiopathic arthritis which progressed during a clinical trial of etanercept	木ノ内 玲子	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci (平19. 9)	Resveratrol a component of red wine,elcits dilation of isolated porcine retinal arterioles role of nitric oxide and potassium channels	長岡 泰司	眼科

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Immunol (平20. 3月)	Increase in B-cell-activation factor (BAFF) and IFN-gamma productions by tonsillar mononuclear cells stimulated with deoxycytidyl-deoxyguanosine oligodeoxynucleotides (CpG-ODN) in patients with IgA nephropathy	後藤 孝	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Clin Exp Immunol (平20. 1月)	Selective expansion of T cell receptor (TCR) V beta 6 in tonsillar and peripheral blood T cells and its induction by in vitro stimulation with Haemophilus parainfluenzae in patients with IgA nephropathy	野澤 はやぶさ	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Clin Immunol (平19. 12月)	The role of CCL22/macrophage-derived chemokine in allergic rhinitis	柳内 充	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Int J Oncol (平19. 9月)	Overexpression of small ubiquitin-related modifier-1 and sumoylated Mdm2 in oral squamous cell carcinoma: possible involvement in tumor proliferation and prognosis	片山 昭公	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Intervirology (平19. 7月)	Selected amino acid change encoding Epstein-Barr virus-specific T cell epitope of the LMP2A gene in Japanese nasal NK/T cell lymphoma patients	長峯 正泰	耳鼻咽喉科・頭頸部外科

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Turk J Pediatr (平19.5)	Mutational analysis of the human MBX gene in four Korean families demonstrating microphthalmia with congenital cataract	宮本敏伸	産婦人科
Cancer research (平19.8)	Promoter Hypermethylation Contributes to Frequent Inactivation of a Putative Conditional Tumor Suppressor Gene Connective Tissue Growth Factor in Ovarian Cancer	千石一雄	産婦人科
日本産婦人科学会誌 (平19.9)	卒後研修プログラム—難治性男性不妊症への対応	千石一雄	産婦人科
産婦人科漢方研究の歩み (平19.4)	漢方薬に関する検索ソフトの開発	加藤育民	産婦人科

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Radiology 243(3):869-876 2007・6 (平19. 6)	Thymic hyperplasia and thymus gland tumors: differentiation with chemical shift MR imaging	稻岡 努	放射線科
American Journal of Roentgenology 189(6):303-308 2007・12 (平19. 12)	VIBE MRI for Evaluating the Normal and Abnormal Gastrointestinal Tract in Fetuses	稻岡 努	放射線科
Nuclear Medicine Communications 28:726-735 2007・9 (平19. 9)	A compartment model analysis for investigation of myocardial fatty acid metabolism in patients with hypertrophic cardiomyopathy	沖崎 貴琢	放射線医学講座

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Acta Anaesthesiologica Scandinavica (平 19・7)	Effect of ago on pulmonary gas exchange during laparoscopy in the Trendelenburg lithotomy position	高畠 治	麻酔・蘇生学講座
Journal of Clinical Anesthesia (平 19 . 8)	Letters to the Editor :Pentax-AWS(Airway ScopeR) for awake tracheal intubation.	鈴木昭広	麻酔科蘇生科
European Journal of Anesthesiology (平20 . 1)	The Parker Flex-Tip TM tracheal tube makes endotracheal intubation with the Bullard laryngoscope easier and faster	鈴木昭広	麻酔科蘇生科
Journal of Anesthesiology (平20 . 2)	Letters to the editor Cardiovascular responses to tracheal intubation with the Airway Scope(Pentax-AWS)	鈴木昭広	麻酔科蘇生科
European Journal of Anesthesiology (平 20. 2)	Propofol attenuates ischaemia-reperfusion injury in the rat heart in vivo.	小北直宏	救急部

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
脳神経外科 (平19. 4)	くも膜下出血で発症した多発性脳動脈瘤に対する血管内治療の役割	櫻井寿郎	脳神経外科
Epilepsia (平19. 4)	The effect of electrical stimulation and lesioning of the anterior thalamic nucleus on Kainic acid-induced focal cortical seizure statue in rats	竹林 誠治	脳神経外科
カレントセラピー (平19. 4)	実験てんかんと外科治療	田中達也	脳神経外科
Epilepsy Research (平19. 6)	Anti-convulsant effect of electrical stimulation and lesioning of the anterior thalamic nucleus on kainic acid-induced focal limbic seizure in rats	竹林 誠治	脳神経外科
日本内分泌学会誌 (平19. 8)	当科における下垂体腺腫再発ないし再増大例の検討	程塚 明	脳神経外科

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Infect, 54:617-622 (平19. 6)	Undetected <i>Bacillus</i> pseudo-outbreak after renovation work in a teaching hospital.	大崎 能伸	呼吸器センター
Respirology, 12:458-461 (平19. 5)	Radiological findings of alveolar hydatid disease of the lung caused by <i>Echinococcus multilocularis</i> .	大崎 能伸	呼吸器センター
J Magn Reson Imaging, 26:155-158 (平19. 7)	Solitary fibrous tumor of the pleura: apparent diffusion coefficient (ADC) value and ADC map to predict malignant transformation.	大崎 能伸	呼吸器センター
J Infect, 55:283-284 (平19. 9)	Use of sodium hypochlorite (NaOCl) in laundering stops cross-contamination of <i>Bacillus cereus</i> .	大崎 能伸	呼吸器センター
Lung Cancer, 58:214-219 (平19. 11)	Color auto-fluorescence from cancer lesions: Improved detection of central type lung cancer.	大崎 能伸	呼吸器センター

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本輸血・細胞治療学会誌 55巻 5号 553-557. 2007 (平19. 10)	輸血前血清を凍結保管していたことでB型肝炎ウイルス再活性化の経過を調査した一例	紀野 修一	臨床検査・輸血部

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 松野丈夫
管理担当者氏名	総務課長 小山幸弘、会計課長 構野秀樹、経営企画課長 今西徳寛 医療支援課長 黒田義弘、薬剤部長 松原和夫

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病院事務部 医療支援課 経営企画課 薬剤部	コンピューターによる集中管理を行っている。 カルテ等病歴資料、外来・入院別に1患者1ファイル方式とし、エックス線写真は分冊になっているが1患者単位での管理を行っている。
病院の管理及び運営に関する諸記録 確規保則の第9条の23条及び第11条の1各号に掲げる体制	従業者数を明らかにする帳簿	総務部総務課	
	高度の医療の提供の実績	病院事務部 経営企画課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務部総務課	
	高度の医療の研修の実績	総務部総務課	
	閲覧実績	病院事務部 経営企画課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	病院事務部 経営企画課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院事務部 経営企画課	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務部総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務部総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務部総務課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	病院事務部 医療支援課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	医療安全管理部	

			分類方法
		保管場所	
規則第1条の1各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部	
	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部	
	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	感染制御部	
	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	総務部総務課	
	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部	
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	薬剤部	
	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	総務部総務課	
	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	総務部会計課	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	医療安全管理部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院事務部長 菅原豊彦
閲覧担当者氏名	経営企画課長 今西徳寛
閲覧の求めに応じる場所	病院会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延	0 件
閲 覧 者 別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地 方 公 共 団 体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	6 6. 4 0 %	算 定 期 間	平成19年4月1日～平成20年3月31日
算 A : 紹 介 患 者 の 数			9, 0 4 1 人
出 B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			4, 7 4 9 人
根 C : 救急用自動車によって搬入された患者の数			1, 6 2 1 人
拠 D : 初 診 の 患 者 の 数			1 8, 4 6 0 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（1名）
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（1名）
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有
・ 所属職員： 専任（1）名 兼任（8）名 ・ 活動の主な内容： (1) インシデントレポート等に関する調査・分析 (2) 安全策の策定、実施及び周知に関する事項 (3) 医療の質の向上、その他安全対策に関する事項等	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
・ 指針の主な内容： (1) 安全管理の基本理念 (2) 安全管理組織体制の整備 (3) 部門の長の管理責任の明確化 (4) インシデントと医療事故の用語の定義 (5) インシデント報告体制 (6) 医療事故等発生時の対応 (7) 時間外緊急連絡網体制の整備	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 4 3 回
・ 活動の主な内容： (1) 医療事故防止対策の検討及び推進 (2) 医療事故防止の啓発活動（講演会等の企画立案を含む） (3) インシデント報告の調査及び分析を行い、その改善策を講じ、改善事項・周知事項の周知徹底を図る。 (4) 各部署における医療安全管理状況の点検及びマニュアルの見直し (5) 医療の安全に関する最新情報及び警鐘事例の職員への周知 (6) インシデントが発生した場合、医療事故か否かを判定し、医療事故と判定した場合は速やかに事故原因を調査究明し、再発防止策を策定する。	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 1 4 回
・ 研修の主な内容：	
別紙「平成 19 年度 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況」のとおり	

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況

- ・医療機関内における事故報告等の整備 (有)
- ・その他の改善の方策の主な内容
 - (1) インシデント事例をリスクマネジャー連絡会議に提起し、分析結果を院内に周知している。
 - (2) 患者誤認、薬剤過量投与防止のため、輸液ポンプ・シリンジポンプでハイリスク薬を実施する際の患者確認行為「キヨクイファイナルチェック」で徹底を図った。
 - (3) 平成19年7月19日から、注射オーダ時要注意薬剤（ハイリスク薬）を決定し、院内にリストを配布し、注射オーダ画面上でハイリスク薬が表示され、複数医師で確認する体制を構築した。
 - (4) 平成19年8月から抗癌化学療法のプロトコルとレジメン登録が情報システムで登録可能になり、医療文書として活用出来る体制になった。
 - (5) 平成19年9月3日から注射針等の新カラーコードをISO規格に統一した。
 - (6) 気管チューブ誤接続防止のため、推奨品を決定。
 - (7) 他大学のGE浣腸施行時に腸管穿孔を来たした事例に基づき、GE浣腸液の見直しを図った。
 - (8) 輸液・輸血セットをISO規格20滴と60滴製品に統一した。
 - (9) 小型血糖測定器の院内使用分と外来患者使用分の機種交換を3月10日から開始。
 - (10) 「診療マニュアル医療事故防止対策編ポケットマニュアル」を発行。

テーマ：チーム連携で事故防止

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> (1) 基本的な考え方 (2) 取組む組織 (3) 職員研修 (4) 感染症発生状況の報告 (5) 院内感染発生時の対応 (6) 患者に対する当該指針の閲覧 (7) その他の当院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年26回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> (1) 院内感染対策の検討と推進 (2) 感染防止のための教育と啓発 (3) 感染情報の収集・分析を行い、改善の方策を図る。 (4) 感染対策マニュアルの策定と適宜な見直し (5) H I V感染対策の強化と充実 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 7回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> (1) 閉鎖式輸液ライン操作演習 (2) 手指衛生及びP P E着脱演習 (3) 採用者に対する感染防止教育 (4) 院内感染防止対策に係る講演会 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有) ・ その他の改善の方策の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> (1) 手指衛生に係るポスターの作成・掲示や手指消毒演習済みの証である缶バッジを作成し、手指衛生の推進を図った。 (2) 感染リンクナースを中心各部署教育を実施した。 (3) 市内のインフルエンザの発生状況を2週間単位で院内に周知し、予防啓発を図った。 (4) I C T感染対策ラウンド後、感染対策に係る達成状況および注意点をコメント付きの写真などで現場にフィードバックすることにより、感染対策の推進を図っている。 (5) 抗MRSA薬の監視体制の構築 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3回
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 : 	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 初任者看護技術研修（対象：看護師）、薬剤の基礎知識について：H19.5.24～5.25 63名 (2) 院内医療安全対策実状報告会（対象：医師・看護師）、抗癌化学療法のレジメン登録、注射オーダ時要注意薬剤警告システムの運用について：H19.7.23 140名 (3) 抗癌化学療法プロトコル説明会（対象：医師・看護師）、抗癌化学療法プロトコル登録システムの運用について H19.7.30 55名 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・手順書の作成 (有) ・業務の主な内容 : 	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 総則 (2) 医薬品の採用 (3) 医薬品の購入・管理 (4) 薬剤部における医薬品の管理 (5) 病棟・各部門への医薬品の供給 (6) 外来患者への医薬品使用 (7) 入院患者への医薬品使用 (8) 麻薬管理 (9) 院内製剤 (10) 他施設との連携 (11) 医療事故防止および発生時の対応 (12) 教育・研修 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有) ・ その他の改善の方策の主な内容 : 	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 厚生労働省医薬食品局：医薬品・医療機器等安全性情報 (2) 日本製薬団体連合会：Drug Safety Update (3) 各メーカー・卸からの回収情報等の収集 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 7回
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 : (1) シリンジポンプ、輸液ポンプ <ul style="list-style-type: none"> ・研修名 : ME機器セミナー ・対象者 : 病院関係職員、大学院生、研究生及び学生 ・研修内容 : 安全に使用するための講習会（危険な操作、動作を学ぶ） ・開催日 : 平成19年6月15日（金）、6月20日（水）、6月22日（金） ・受講者数等 : 281名 (2) 人工呼吸器 <ul style="list-style-type: none"> ・研修名 : 人工呼吸器安全管理講習会 ・対象者 : 病院関係職員、大学院生、研究生及び学生 ・研修内容 : 人工呼吸ケアのための気道管理及び安全管理 ・開催日 : 平成19年10月3日（水）、10月12日（金） ・受講者数等 : 151名 (3) 人工呼吸器 <ul style="list-style-type: none"> ・研修名 : 人工呼吸器準備等に関する学習会 ・対象者 : 病棟看護師 ・研修内容 : 回路準備、始業点検及びジャクソンリースによる手動換気に関する ・開催日 : 平成19年12月10日（月）、12月25日（火） ・受講者数等 : 10名 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 （有） ・ 保守点検の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> (1) シリンジポンプ、輸液ポンプ及び経腸栄養ポンプは中央管理による日常点検及び定期点検 (2) 人工呼吸器は始業点検、使用中点検、終業点検及びメーカーによる定期点検 (3) 血液浄化装置は始業点検及びメーカーによる定期点検 (4) 除細動器は点検器具を用いた臨床工学技士による定期点検 (5) 人工心肺装置及び補助循環装置は始業点検及びメーカーによる定期点検 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （有） (1) 情報の収集 <ul style="list-style-type: none"> ・医薬品、医療機器に関する情報提供のホームページの活用 ・メーカー主催のメンテナンス講習会への参加 ・医療機器に関連する学会への参加 ・メーカー担当者からの報告、情報の収集 (2) 情報周知の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な報告（医療機器安全使用に関する検討会の実施） ・文書配付による通知 ・メーカー担当者から関連部署への通知の依頼 	

別紙

平成19年度 医療に係る安全管理にための職員研修の実施状況

開催日時	研修名	目的・内容	時間	対象者
19. 4. 4(水)	初任者研修(看護部門)	医療安全に関する基本的な考え方を学ぶ 講義 「医療事故防止の基本的な考え方」 「医療事故防止のための体制整備」 「医療事故防止のための具体的な活動」 「安全文化醸成のための啓発活動」 「組織の複雑性を理解する」	60分	新規採用者
19. 4. 4(水)	卒後臨床研修オリエンテーション	インシデントレポートの報告ルート、内容の理解 講義 「リスクマネジメントの基本」 「安全管理体制について」 「何を報告すべきか起票の作成」 「事例から学ぶことの意義について」	30分	新規採用者
19.6.15(金) 19.6.20(水) 19.6.22(金)	ME機器セミナー	インシデントを発生させるメカニズムを学び、ヒューマンエラーを誘発させないシステム作りを考える 危険予知と確認行為の徹底 ・輸液ポンプ・シリングポンプの操作のエラー・確認行為を学ぶ ・30分間のドキュメンタリードラマ(ドッグ・ドラマ) ・2部構成	30分	全職員・学生
19. 7. 4 (水)	特別講演会 「医療事故情報収集等の現状と課題」と題して	医療安全・事故防止活動の医療制度のスタンスを学ぶ	90分	全職員・学生
19. 7.11 (水) 20. 2.20 (水)	事例検討会 第1回 「事例から学ぶ」 事例検討会 第2回 「事例から学ぶ」	・事例のインシデントの原因及び要因を分析し、再発防止策を立案する ・RCA分析	90分 90分	全職員・学生 全職員・学生
19. 7.23 (月)	院内医療安全実状報告会	・院内中央部門事業、ワーキンググループ、委員会活動の実状を把握し、医療連携を学ぶ	60分	全職員・学生
19.10月	ポスター活動 医療における安全	事故防止・質向上を目指し安全月間用ポスターを作成	一	全職員・学生
19.10. 3 (水) 19.10.12 (金)	人工呼吸器安全管理講習会	・医療機器の安全使用のための知識・技術を学ぶ ・仕事のプロセスを分析し、仕事の質の水準を高め、行動手順を作成する	60分	全職員・学生
19.12. 5(水) 19.12. 6(木)	各部門における安全への取り組み報告会 (ポスターセッション & 報告)	「7月から11月までの取り組みを報告する。」 ・他のセクションでの患者の安全への取り組みを知り、 安全意識を高める ・チーム医療と専門職としての質向上からシステム的事故防止に取り組む	90分	全職員・学生